

## 文学研究科 日本語日本文学専攻（博士後期課程）のご案内

### 1 理念、目的と教育課程の編成

博士後期課程では、日本語と日本文学を中心とした文化の深い理解の上に、これまでに蓄積されてきた研究の成果を継承しつつ、発展的に乗り越えていくことを研究・教育上の理念としています。この理念に基づき、新たな時代を創造する主体として、高度な専門的知識や能力を身につけて人間文化の考察に努める人材、次代の研究を生み出す先見的な資料基盤の整備と活用を行う人材、自らの研究の蓄積と教育・研究能力を社会において実践的に活用する人材の育成を目指します。

語学分野の研究領域として、日本語学の領域では、通時代的な視野に立って、日本語の文法、ならびに、語彙の研究を行います。日本語研究の中でも特に日本語史の分野は、文法と語彙との連関が密接であり、それらを融合した研究課題も多いため、文法・語彙それぞれの研究が相互補完的に関係し合える編成にしています。また、標準語あるいは共通語のみならず方言をも射程に入れた研究を行うことも可能です。

日本語教育学の領域では、外国語母語話者に対する日本語教育を念頭に置きつつ、現代日本語の分析や指導法等を研究します。

文学分野の研究領域として、日本文学の領域では、作品・文献の個別的研究のみならず、通史的研究にもよく対応し、古代から近代に至る各時代の文芸、ならびに、文化を考究します。韻文では、万葉集にはじまる和歌文学から連歌・俳諧までを、散文では、いわゆる物語文学から説話、軍記、近・現代小説の類までを対象に、厳密な注釈的技法の実践と、作品に新たな光を当てるような立論を目指します。更に、我が国の思想・文化の深奥に及び、日本文学への影響著しい中国哲学、ならびに、中国思想史を研究する場を設け、文学研究上の学際化にも応じます。

令和6年度予定

研究領域	担当者		担当者の専門
日本語学	教授 教授 准教授	半藤英明 * 米谷隆史 * 小川晋史	文法・助詞の研究 語彙論・辞書史 方言学・社会言語学
日本語教育学		未定	
日本文学	教授 准教授	未定 鈴木元 * 五島慶一	古代文学 中世文学 近代文学
日中文化	教授	山田俊 *	中国哲学・中国思想史

※入学後は、各担当者の授業を履修しつつ、いずれかの論文指導教員（\*印）のもとで学位請求論文完成に向けた研究を進めます。

※カリキュラム（教育課程）、シラバス（授業内容）については本学ホームページ（<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>）をご覧ください。

### 大学院研究科（春季・秋季入学）入試状況（志願者数～入学者数）

研究科	日程	定員	選抜区分	R3年度				R4年度				R5年度				
				志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	
文学研究科 日本語日本文学専攻 (博士後期課程)	秋季募集	1名	—													
	春季募集	1名	—					1	1	1	1					
	秋季入学	若干名														
	合計			0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0